

## 1. 富士市の現状 ・ P & Rについて

### (1) 背景

高度成長期 : 大気汚染・水質汚濁の公害の問題



近年 産業型公害は改善  
一方、自動車排出ガスによる大気汚染問題  
渋滞の多発、都心部の利便性低下

### (2) 富士市の都市構造の特徴

問題点

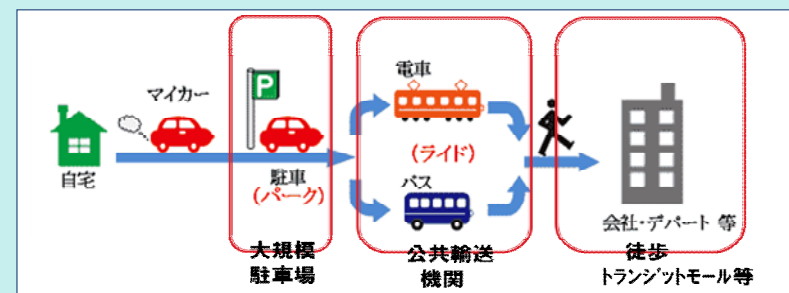
- ① 低密度な市街地の拡散 D I D ●●人／
- ② 輸送分断率 : 自動車が高く、71% (全国平均45%)  
所要時間に関わらず、自動車の分担割合が高い。  
⇒車両の使用に伴うCO2 排出量 686 t (平成26年度)



## <提言> P & R (パーク&ライド)

クルマで目的地まで行くのではなく、駅などの近くに設置された駐車場にクルマを止め、公共交通機関に乗り換えて移動するシステム。

- (目的)
- ① 自動車通勤等の削減によるCO2排出の低減
  - ② 公共交通機関の活性化と、都心部利便性改善



### (3) 本プロジェクトの検討経緯

2015年5月～

富士市、地元大手自動車部品企業、地元都市バス運行企業と協働プロジェクト発足、検討会3回開催

2016年5月

中間報告会開催

## 2. P & R富士モデル 具体案 (A・B案)

# (1) P & Rの導入要件

(ストラブール) (富士市)

- ①対象 : 富士市＝富士宮間の通勤通学者
- ・ 区間距離 約10Km
  - ・ 富士宮市から富士市への流入人口
    1. 3万人/日

②必要条件 : 右の4点

1. 郊外における大規模・低廉な駐車場の確保 ○ △
2. 都市間の大量輸送機関 (LRT、バスなど…) ○ △
3. 都市中心部における移動容易性 ○ ×
4. 利用促進策の実施 (商品券、マイカー規制等) ○ 要検討

## A案

対象事業所 : 計5 (JATCO他)  
 対象者 : 計50人  
 移動手段 : マイカー+シャトルバス(中型2便)



## B案

対象事業所 : 計5 (JATCO他)  
 対象者 : 計71人  
 移動手段 : マイカー+JR身延線  
 +市内シャトル(大型1、中型1)



## (3) 比較表

|          |       | A案                    | B案                                     | マイカー                |
|----------|-------|-----------------------|--|---------------------|
| 概要       | 方式    | マイカー+専用通勤バス           | マイカー+JR+市内バス                           | マイカー                |
|          | バス便数  | 朝夕各2便                 | 朝夕各2便                                  | —                   |
|          | 所要時間  | 60分                   | 53分                                    | 63分                 |
|          | 推計需要者 | 50人                   | 71人                                    | —                   |
| ① CO2削減量 |       | 27t/年                 | 86t/年                                  | —                   |
| ② コスト増   |       | 年 35百万円               | 年 43百万円                                | —                   |
| ③ 利便性    | メリット  | ●移動時間の有効利用<br>●乗換が少ない | ●移動時間の有効利用<br>●定時制が比較的高い<br>●富士駅利用者の増加 | ●自由度が高い             |
|          | デメリット | ●渋滞に影響される<br>●自由度が低い  | ●乗り換えが多い。<br>●自由度が低い                   | ●渋滞の発生<br>●CO2の発生量大 |

## (2) 需要者数の推計式

$$\text{従業員数} \times \frac{\text{富士宮からの流入人口} \times \text{富士宮駅周辺居住率}}{\text{富士市全事業所従業員数}} \times \text{車分担率}$$

対象企業 : ジャトコ、市役所、東芝キャリア、富士市立中央病院

## 3. 評価・結論

- ① 富士市におけるP & R導入は、ハードルが高い
- ② 敢えて、富士市においてP & Rを導入するとした場合
  - ・ 右の課題解決が必要
  - ・ 実現した場合の効果等

潜在需要者推計 50～70名 (富士・富士宮間の移動者を対象)  
 その場合のコストは、A案、B案とも年40百万円前後  
 CO2削減と利便性は、B案が優位

### 課題

- ・ 富士市内の大規模事業所の連携取組
- ・ 駐車場の確保等 (富士宮イオンの協力確保)
- ・ 昼間時間帯における貸切バスの有効活用  
 ⇒例) 新富士駅送迎利用、大学生送迎等